

令和5年度 一般会計の 歳入と歳出の特徴



歳出

人件費は約6.4%の減

市職員の給与、退職金、議員や委員の報酬などの経費である人件費は、前年度比6.4%減の約7億1,621万円減額となりました。

扶助費はほぼ横ばい

高齢者・児童・生活困窮者などを援助するための経費である扶助費は、前年度とほぼ横ばいで、704万円の増額となりました。

公債費は約0.2%の減

施設建設などのために借り入れた市債を返済する経費である公債費は、前年度末で返済終了となる市債額を、返済開始となる市債額が下回ったことなどの影響で、前年度比約0.2%減の約1,784万円減額となりました。

普通建設事業費は約17.4%の増

学校、道路、公園などの整備を行うための経費である普通建設事業費は、全体として前年度比約17.4%増の約13億8,702万円の増額となりました。これは、苫小牧市民文化ホール整備運営事業の開始や市営住宅の建設事業などの大型事業費が増額したことによるものです。

ネーミングライツによる広告収入について

令和5年度予算額 17,220千円

施設名	愛称
白鳥アリーナ	白鳥王子アイスアリーナ
緑ヶ丘野球場	とましんスタジアム
市民文化公園	出光カルチャーパーク
沼ノ端スケートセンター	ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ
日新温水プール	アブロス日新温水プール
沼ノ端スポーツセンター	アブロス沼ノ端スポーツセンター
リサイクルプラザ苫小牧	J F E リサイクルプラザ苫小牧
三光横断歩道橋	安心のかけ橋 とませい歩道橋
旭大通アンダーパス	新興産業旭大通アンダーパス

※4/1から緑ヶ丘公園陸上競技場にネーミングライツの導入が決定しました。(詳細はP24をご覧ください)



歳入

市税は10億9,749万円の増

歳入の根幹である市税は、前年度予算額277億6,671万円に対し、今年度予算額が288億6,420万円となり、10億9,749万円の増額となりました。

これは、市民税が約2億5,360万円の増額、固定資産税が6億1,213万円の増額となることなどを見込んでいます。

市税の収納率については滞納整理など積極的に取り組み、令和3年度は96.8%となっており、今後も収納体制の強化に努めさらなる収納率の向上を目指します。

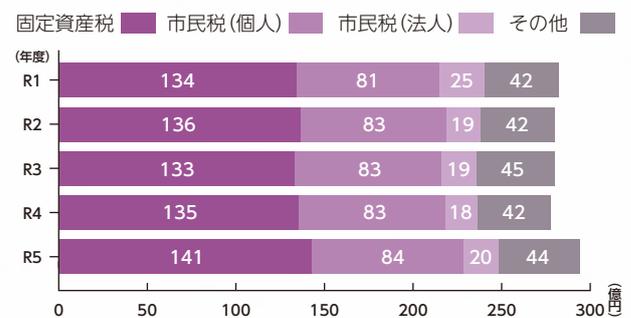
市債は2億8,630万円の増

主に建設事業を行うために借り入れる市債は、世代間負担の公平性の確保とともに大型事業実施の当面の財源として有効な手段です。ただし、市債の返済金である公債費の増加は、財政硬直化の要因となるため、慎重な判断が必要となります。

今年度は、苫小牧市民文化ホール整備運営事業の開始などにより、前年度に比べ2億8,630万円の増額となりました。

なお、今年度末の市債残高は、前年度から約24億640万円減額の約877億1,106万円を見込んでいます。

市税収入の推移データ(令和4・5年度は予算額)



令和5年度の内訳は、固定資産税が約49%、市民税(個人)が約29%、市民税(法人)が約7%となっています。

今後も予算の効率的・効果的な執行に努め、財政の健全性を確保しながら、さまざまな課題に対応できる持続可能な財政運営を目指していきます。